

【事業概要】 同業他社(アサヒ・キリン)の連携による中距離の共同モーダルシフト

実施事業者

日本通運株式会社 / アサヒビール株式会社
キリンビール株式会社 / 日本貨物鉄道株式会社

事業内容

北陸エリアへの飲料輸送について、同業他社(アサヒビール・キリンビール)が連携して、トラック輸送から、鉄道貨物の利用率が低い下り路線の輸送力を活用した共同モーダルシフトを実施する。

実施前

アサヒビール
名古屋工場

キリンビール
滋賀工場
名古屋工場

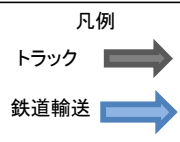


250km、5時間、6,700回/年



(滋賀工場) 250km、5時間、1,900回/年
(名古屋工場) 190km、4時間、3,500回/年

石川県
富山県



実施後

アサヒビール
吹田工場

10km、0.5時間、
計5,300回/年

キリンビール
神戸工場

50km、1.5時間、
計3,800回/年

吹田貨物ターミナル駅



250km、4時間、計300回/年

金沢貨物ターミナル駅

10km、0.5時間、
9,100回/年

専光寺物流センター
日本通運

45km、1.5時間、
6,700回/年

35km、1時間、
5,400回/年

石川県
富山県

主な供給工場を関西エリアに変更

北陸エリア行き下り路線の有効活用

共同配送センターの開設

特徴

- 同業他社の連携による共同モーダルシフト
- 大きなシェアを占める企業の協同による啓発性
- 鉄道貨物の利用率の低い下り路線の輸送力の有効活用

効果

- CO2排出削減量 2,700t-CO2/年(56%削減)
- ドライバー運転時間省力化 20,000時間/年(35%削減)